

# 主力戦車の輸出を巡る中国とウクライナの競争

漢和防務評論 20180306(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

2016年2月と2017年7月の記事の続報です。  
タイ国とパキスタンへの主力戦車の輸出をめぐる中国とウクライナが争っています。  
中国は、一帯一路戦略を推進するうえで、南アジア国への大型武器輸出はますます重要になるでしょう。

**KDR** バンコク報道：

ウクライナ軍事工業界の権威筋は、**KDR** 記者に次のように述べた：ウクライナの戦車生産は、すでに過渡期を脱した。**OPLLOT** 主力戦車の生産は、主としてウクライナ製部品で生産できるまで回復した、と。また同筋は：現在までに、タイ国陸軍向けに43両の**OPLLOT** 主力戦車を提供した。残りの6両は今年末までに引渡し完了する予定である、と述べた。さらに”我々は、引き続き注文が来ることを期待している”と述べた。

これと同時に、**OPLLOT** 戦車は、パキスタン陸軍への売り込み交渉が一定の進展を見ている。しかし消息筋は細部をコメントすることを拒否した。中国北方工業会社の**VT-4** 主力戦車もまたパキスタン陸軍への入札に応募している。パキスタンの消息筋は：陸軍は評価の最中である。様々な要素があり、機会は均等である、と述べた。

これと同時に、中国はすでに10月以前に、28両の**VT-4** 戦車の部品をタイ国に提供した。12月までにタイ国は全ての組立を完了する。**NORINCO** がバンコクで公開した写真を見ると：この戦車の輸出には射程5000Mのレーザー誘導ミサイルが含まれる。中国ではすでに試験を終了している。砲塔は電動式で、回転は極めて静かである。

ウクライナの戦車専門家は、**KDR** に次のように述べた：我々は、**OPLLOT** 戦車の機械式回転方式の方が信頼性が高いと信じている、と。

タイ国陸軍の消息筋は：タイ国陸軍は、一定期間この両種の戦車を試用する。その結果、どちらにするか決定する。しかし別の選択肢として、引き続きウクライナと中国から両種の戦車を輸入することもありうる、と述べた。タイ国陸軍は38両の**VT-4** 戦車が欲しいようだ。

”我々が**VT-4** 戦車に要求するのは、少なくとも2種類の装置をタイの本国で生産することである。例えば、戦車の履帯である。タイ国は世界で最も優れた戦車の履帯技術を有する国である。現在試作品を中国に送りテストしている”と消息筋は述べた。

以上